



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日

上場会社名 大太平洋金属株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5541 URL https://www.pacific-metals.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 正幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 藤山 環 (TEL) 03-3201-6681  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	23,004	△33.9	△365	—	2,137	△34.5	1,924	△37.4
2020年3月期第3四半期	34,792	△5.9	1,336	—	3,264	51.6	3,074	18.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,536百万円( 24.5%) 2020年3月期第3四半期 3,644百万円( 267.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	98.69	—
2020年3月期第3四半期	157.60	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	74,726	67,943	90.6
2020年3月期	69,960	63,506	90.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 67,688百万円 2020年3月期 63,247百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	5.00	25.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,975	△29.8	△1,174	—	2,498	156.9	2,171	247.1	111.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	19,577,071株	2020年3月期	19,577,071株
2021年3月期3Q	73,510株	2020年3月期	72,564株
2021年3月期3Q	19,504,142株	2020年3月期3Q	19,505,297株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の世界的大流行のため緊急事態宣言が発出され、各種行動制限等を実施した影響で個人消費及び企業収益等は急速に減少し、経済活動は大幅に落ち込み、緊急事態宣言解除後には段階的な経済活動再開に伴い一部に持ち直しの動きは見られたものの、感染症の再拡大などもあり、厳しい状況で推移しました。

海外経済については、米新政権の経済政策運営、米中間の通商政策を巡る動向、金融資本市場変動の影響及び中東の地政学的リスク等による先行き不透明感は継続する中で、感染症の世界的大流行の影響で雇用・所得環境等が急激に悪化し、一部に経済活動再開による回復は見られたものの、感染症の収束は見通せず、総じて厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの売上高並びに損益の大半を占めるニッケル事業の主要先であるステンレス鋼業界は、一部では回復基調を辿るものの、原料価格高等に起因する収益性重視の強化体制を継続しており、また、海外大手生産者の稼働状況は業界全般の生産活動へ大きな影響を与えているため、不透明な稼働状況が継続していることに加え、感染症の影響による急激な需要収縮も見られ、概ね厳しい状況で推移しました。

このため、フェロニッケル需要は、低調な推移となりました。

フェロニッケル製品の主原料であるニッケル鉱石の調達先は、感染症予防対策の一環で、一部調達先国のニッケル鉱山が一定期間操業を停止せざるを得ない状況も見られましたが、操業・出荷状況は回復しており、当社生産・販売数量に見合う調達は維持しました。

ニッケル鉱石の価格に関しては、インドネシア未加工鉱石禁輸政策の再開に伴う鉱石供給懸念の継続を背景に、緩やかな上昇傾向で推移しました。

ロンドン金属取引所(LME)におけるニッケル価格は、感染症の世界的大流行の影響に伴う経済活動の停滞等もあって、期の初めは低調な推移ではありましたが、各国に段階的な経済活動再開の動きがみられ、生産活動等の回復及び感染症のワクチン実用化への期待感を背景に、上昇基調となりました。一方で、世界的な貿易制限等の影響及び依然不安定な原油等商品市況等、また、感染症の長期化懸念に伴う景気回復持続に不確実性もあり、先行きには不透明感が見られております。

その中で、当社のフェロニッケル販売数量は、前述のようなステンレス鋼業界の厳しい環境に伴うステンレス生産者の稼働率低迷、並びに海外ステンレス生産者の原料調達が比較的価格優位性が見られるニッケル銑鉄等へシフトしたこと等もあって厳しい販売環境となり、前第3四半期連結累計期間と比べ国内外向けともに減少し、全体では前年同四半期比29.2%の減少となりました。

また、フェロニッケル生産数量は、販売数量と概ね同様の傾向で、減少しました。

フェロニッケル製品の販売価格は、当社適用LMEニッケル価格は前年同四半期比0.5%上昇したものの、当社適用平均為替レートが前年同四半期比3.0%の円高となったことに加え、不透明感の増す事業環境への対応等のため、価格安となりました。

このように、不透明感の継続する経営環境のもと、当社グループは、感染症に対して、「感染拡大防止に関する行動指針」を策定し、感染予防等に努めており、販売先及び調達先の各国と適時適切なコミュニケーションを取りながら、事業活動等に与える感染症の影響について低減を図っております。また、感染症の影響は、当連結会計年度において継続するものと考えられますが、このような事業環境等への対応施策は継続的に進めており、収益基盤をより一層強化させるため、省エネ・低コスト生産等によるトータルコスト削減の推進、最適生産体制構築のための設備強化及び鉱石の長期安定調達へ向けた取り組み並びに採算性重視の受注を徹底し、臨機応変な生産販売体制の構築等に努めております。さらには、海外事業展開・新規鉱山開発等の早期実現及びコストミニマムを追求するための業務効率改善策の強化等、業績の底上げ及び収益安定化に向けた取り組みを継続しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、連結売上高が23,004百万円、前年同四半期比では33.9%の減収となりました。損益面では、前連結会計年度に計上のたな卸資産の収益性低下による簿価切下げ額の一部戻入れ等を含めた営業損失は365百万円(前年同四半期営業利益1,336百万円)、営業外収益において持分法適用会社6社の持分法による投資利益2,415百万円の計上等を含めた経常利益は2,137百万円、前年同四半期比では34.5%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,924百万円、前年同四半期比では37.4%の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四

半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①ニッケル事業

ニッケル事業についての経営成績は、「(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおりであります。

その結果、当部門の売上高は22,543百万円、前年同四半期比34.3%の減収、営業損失は204百万円(前年同四半期営業利益1,565百万円)となりました。

②ガス事業

ガス事業についての経営成績は、感染症の影響もあり受注量は減少し、また、設備修繕に伴う費用増等もあり、当部門は損失計上となりました。

その結果、当部門の売上高は454百万円、前年同四半期比1.6%の減収、営業損失は27百万円(前年同四半期営業損失33百万円)となりました。

③その他

その他の事業部門につきましては、不動産事業は販売不振及び廃棄物リサイクル事業は受注等低迷等により、当部門は損失計上となりました。

その結果、当部門の売上高は86百万円、前年同四半期比37.8%の減収、営業損失は140百万円(前年同四半期営業損失212百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの資産、負債及び純資産については、次のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,766百万円増加し、74,726百万円となりました。

流動資産では、主な減少要因である受取手形及び売掛金の決済に伴う減少、商品及び製品の減少等はありませんが、主な増加要因である売上債権の決済に伴う現金及び預金の増加等もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ241百万円の増加となりました。

固定資産では、一部保有株式の市場価格上昇に伴う投資有価証券の増加及び投資その他の資産のその他に含まれる企業財産包括保険の更改に伴う長期前払費用の増加等により、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ4,524百万円の増加となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ329百万円増加し、6,782百万円となりました。

流動負債では、支払手形及び買掛金の決済に伴う減少等もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ489百万円の減少となりました。

固定負債では、一部保有株式の市場価格上昇に伴う繰延税金負債の増加等もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ819百万円の増加となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,437百万円増加し、67,943百万円となりました。

株主資本は、利益計上及び配当金の支払い等を加減算し1,825百万円の増加、その他の包括利益累計額はその他有価証券評価差額金の増加等により2,615百万円の増加及び非支配株主持分は3百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)は国内外の景気に急激な影響を及ぼしており、当面、企業活動は鈍い動きが続くものと見られ、また、第4四半期連結会計期間には一部に緊急事態宣言が再発出され、経済の先行きは不確実性が極めて高くなっており、当社グループへも大きな影響が見込まれます。

数量面では、ニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、海外の一部は回復基調を辿るものの、原料調達と比較的価格優位性が見られるニッケル銑鉄等へシフトしていること等もあり、フェロニッケル需要回復の動きは鈍く、厳しい状況での推移が見込まれます。原料鉱石調達面では、影響は見られないものの、調達先国のニッケル鉱山の操業状況については、感染症の影響は注視する必要があります。また、持分法適用関連会社である鉱山会社の持分法による投資利益への影響も見込まれます。

価格面では、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用LMEニッケル価格は、前回公表時と変わらず、上昇基調で推移するものと見込んでおります。

今後、感染症の影響は、当連結会計年度においても継続するものと考えられますが、そうした事業環境等への対応は、当社グループの中期経営計画において掲げる基本方針等で取り組む活動に合致しており、引き続き、強く推進

めて参ります。

以上から、2021年2月1日付「営業外収益(持分法による投資利益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」において、連結業績予想を以下のとおり修正し、併せて前提条件につきましても見直しております。

《参考》

【業績予想の修正】

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年10月30日発表)	百万円 33,342	百万円 △1,189	百万円 1,439	百万円 1,397	円 銭 71.63
今回修正予想(B)	30,975	△1,174	2,498	2,171	111.31
増減額(B-A)	△2,367	15	1,059	774	
増減率(%)	△7.1	—	73.6	55.4	
(参考)前期実績 (2020年3月期)	44,133	△1,879	972	625	32.06

【前提条件の修正】

	販売数量(t)			生産数量(t)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2020年10月30日発表)	9,674	12,326	22,000	9,374	10,390	19,764
今回発表予想	9,674	10,326	20,000	9,374	8,918	18,292
(参考)前期実績 (2020年3月期)	14,889	13,644	28,533	16,271	14,614	30,885

	適用LMEニッケル価格(\$/lb)			適用為替(¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2020年10月30日発表)	5.94	6.48	6.24	106.06	106.28	106.18
今回発表予想	5.94	6.87	6.42	106.06	104.01	105.00
(参考)前期実績 (2020年3月期)	5.90	6.71	6.29	108.52	108.45	108.49

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,714	21,792
受取手形及び売掛金	8,880	6,558
有価証券	2,400	2,700
商品及び製品	8,578	6,659
仕掛品	227	321
原材料及び貯蔵品	5,180	5,414
その他	2,962	1,738
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	44,942	45,183
固定資産		
有形固定資産	8,596	8,842
無形固定資産	22	20
投資その他の資産		
投資有価証券	16,303	20,200
その他	101	485
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	16,398	20,680
固定資産合計	25,018	29,542
資産合計	69,960	74,726

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,014	731
未払費用	1,178	1,155
未払法人税等	69	1
賞与引当金	237	58
その他	539	602
流動負債合計	3,038	2,549
固定負債		
退職給付に係る負債	805	698
繰延税金負債	310	1,345
再評価に係る繰延税金負債	745	745
環境対策引当金	13	33
訴訟損失引当金	24	24
契約損失引当金	1,507	1,377
その他	8	9
固定負債合計	3,414	4,233
負債合計	6,453	6,782
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,922	13,922
資本剰余金	3,481	3,481
利益剰余金	46,677	48,505
自己株式	△447	△449
株主資本合計	63,633	65,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	283	2,759
土地再評価差額金	852	852
為替換算調整勘定	△1,138	△1,057
退職給付に係る調整累計額	△383	△325
その他の包括利益累計額合計	△386	2,229
非支配株主持分	259	255
純資産合計	63,506	67,943
負債純資産合計	69,960	74,726



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	34,792	23,004
売上原価	31,121	21,373
売上総利益	3,671	1,631
販売費及び一般管理費		
販売費	1,251	869
一般管理費	1,083	1,128
販売費及び一般管理費合計	2,334	1,997
営業利益又は営業損失(△)	1,336	△365
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	82	274
不動産賃貸料	99	84
持分法による投資利益	1,718	2,415
その他	180	171
営業外収益合計	2,084	2,949
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	46	317
その他	109	128
営業外費用合計	157	446
経常利益	3,264	2,137
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	10	40
投資有価証券売却損	2	1
特別損失合計	12	42
税金等調整前四半期純利益	3,252	2,095
法人税、住民税及び事業税	125	210
法人税等調整額	46	△35
法人税等合計	171	174
四半期純利益	3,080	1,920
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,074	1,924

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,080	1,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	611	2,480
繰延ヘッジ損益	△2	—
退職給付に係る調整額	42	46
持分法適用会社に対する持分相当額	△87	88
その他の包括利益合計	564	2,615
四半期包括利益	3,644	4,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,638	4,540
非支配株主に係る四半期包括利益	6	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。